



㊦意見交換の冒頭、あいさつする有村治子女性活躍相 ㊧意見交換に臨む村木厚子・厚生労働事務次官（右端）ら＝20日、東京・霞が関、代表撮影

女性公務員 働きやすくするには

女性公務員の育成や登用、働き方の改善をどう進めたらよいか……。有村治子・女性活躍担当相が20日、厚生労働省の村木厚子事務次官ら各省庁の女性幹部22人と意見交換した。内閣人事局によると、こうした懇談会は初めての試みだという。

有村氏は「トップランナーの皆さんの具体的なノウハウ、平坦ではなかった道のりを率直に共有したい」。出席者からは「子育てに適切なポストへの配置ではなく、働き方を見直すべきだ」など、自らの経験にもとづく意見が出された。人事局はこうした声を女

有村担当相、省庁女性幹部と意見交換

性職員の登用や、男女に関わらず働き方の改善につなげたい考えで、今後、体験談を冊子にして職員に配布したり、インターネットで公開したりする予定だ。

各省庁で指定職とされる事務次官、局長、審議官級以上に占める女性職員の割合は昨年9月時点で2・8%。安倍政権は「女性が輝く社会」を成長戦略の柱の一つに位置づけ、女性の登用を積極的に進める考えを示しているが、昨年の臨時国会に提出された「女性活躍推進法案」は衆院解散のため廃案となっている。

（菊地直二）